

## 来春入隊する一般曹候補生合格者が横須賀基地を見学



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・定免克己二等空佐）は、12月6日（木）、海上自衛隊横須賀基地（神奈川県横須賀市）で実施された「海上自衛隊基地見学」に一般曹候補生合格者を引率した。

これは、同基地に所在する海上自衛隊横須賀地方総監部が企画したもので、基地見学を通じて入隊予定者や保護者に入隊前の疑問や不安を少しでも解消してもらい、海上自衛隊に対する認識と理解を更に深めてもらうことを目的に実施された。静岡地本から一般曹候補生に合格した女性2人が参加したほか、埼玉、茨城、新潟地本を含め総勢約20人が集まった。

見学は、まず総監部会議室において海上自衛隊の任務や職種などの概要説明を聞いた後、広報DVDを視聴。そして海上自衛隊3人との懇談が行われた。その後、隊員食堂に移動し隊員と同じメニューの昼食を体験喫食。この日の献立「鳥の照り焼き」に参加者は舌鼓を打った。

午後は総監部に隣接する岸壁から曳船に乗船し、港内めぐりに出発。普段見ることのない潜水艦や隣接する米海軍基地所属の艦艇などを間近で見て、参加者は歓声を上げていた。

再び岸壁に戻り、最後は護衛艦「てるづき」の艦内見学が行われ、艦橋や操縦室などを見学。参加者は、将来艦艇で勤務する自分の姿を想像しながら乗組員に積極的に質問するなどして入隊前の不安を取り除いていた。見学を終えた参加者からは「女性自衛官が勤務しやすい環境が整っていて感動した」「実際に艦内見学できて、改めて入隊後は艦艇勤務したいと強く思った」などやる気に満ちた感想を聞くことができた。

静岡地本は、今後も部隊と連携して艦艇広報等に積極的に参加し、自衛官を目指す若者の将来の夢の実現に全力を尽くす。

## 静岡地本・宮川本部長がラジオ初出演



自衛隊静岡地方協力本部長・宮川知己二等空佐は1月23日（水）、エフエムしみず（静岡市）において、ラジオ番組「自衛TIMES☆静岡」に出演し今年の抱負を語った。

この番組は、約10年前から「清水自衛隊友の会」の提供で毎週静岡市を中心に、県内の自衛隊の活動状況や静岡地本の募集等について放送している。昨年末に着任した宮川本部長は、初出演ということもあり緊張した面持ちで臨んだものの、番組パーソナリティーである三輪祐子さんとの軽妙な会話で番組は終始大盛り上がりとなった。

番組では、宮川本部長が福岡県の八女市出身であり、同じ茶所の静岡県に親近感を持っていることや、趣味がハーレーダビッドソンによるツーリングで、これから静岡県内の観光地を巡って回りたいという一面を披露した。一方、東日本大震災において航空自衛隊の救難隊長として捜索救難活動に参加したことなど、自衛官としての経験も紹介し、最後に「初めて地方協力本部の勤務となり、本部長として県民と更なる良好な関係を築いていくことを目標に掲げていく」とリスナーにメッセージを発信した。

静岡地本は、今後も宮川本部長を核心として地元メディアに隊員が出演し、県民に自衛隊の組織や任務、活動を正しく理解してもらい、自衛官に対する親近感の向上を目的とした広報活動に邁進していく。